

市民による新潟駅南口広場の活用計画づくりワークショップ

広場は、ただできればいいものではありません。誰がどのように使うかが重要です。市民が知恵を絞りあい、市民の手で活用したい。そんな思いから、この平成19年度に「南口広場活用計画づくりワークショップ」が開催されました。

ワークショップの初回で、全国の事例を紹介いただいた設計チームの中野恒明さんから、「『街づくり』ならぬ『街づかい』が大切」というアドバイスを踏まえ、市民で広場の使い方や維持管理について、様々な意見を出し合いました。

このワークショップには、笹口小学校の6年生も参加してくれました。子どもから大人まで幅広い年齢層の市民が、同じテーブルで意見を交わし、様々な意見・アイデアを出し合ったワークショップでした。

また、ワークショップで出された意見・アイデアを「どう実現するか」という点については、「広場の活用をコーディネートする市民組織を立ち上げよう！」ということになり、その設立準備会が立ち上がったのもこの年でした。



運営をコーディネートできる組織づくり

◎駅前広場の維持管理・イベントの運営を市民が主体的にコーディネートする組織づくり

- NPOの法人化が望ましい?
- 自治会・駅南商工会・有志・関わりのある既存団体(元のページェントなど)に参加してもらう
- 地域の子どもたちにも参加してもらう(笹口小にも入ってもらう)
- 誰でも出入りできるコミュニティのような組織形態が良いのでは?

◎参加性の高いイベントを企画・開催

- 広場の維持管理が自らできるような利便性のあるイベントは必要
- 子どもだけでなく、全世代が一緒に盛り上げていこう
- 一部の部を駅前広場に(既存のイベントを駅前広場で開催する)

◎お金の稼ぎ方を考える!!

◎広場の維持管理や組織の運営費に充てるお金を稼ぐ、という考え方が必要!!

- 組織の年会費
- 具体的なイベント開催における街税算定

◎広報活動をもっと頑張ろう!

- 駅に新しく広場ができることをもっと市民に知らせよう!

◎行政と一緒にのってのルールづくり

- まずは現行の条例を勉強しよう

今度のワークショップのように、行政と市民がお互いに話し合う場を、設定し続けていくことが重要。

第3回ワークショップで出された意見のまとめ

- 第1回ワークショップ (H19.12.6)
 - ⇒市民による駅前広場活用の取り組みについて、全国の事例を学ぶ。
 - ⇒整備される新潟駅南口広場での活用アイデアについて、意見を出し合う。
- 第2回ワークショップ (H20.1.20)
 - ⇒整備される新潟駅南口広場での具体的な活用アイデアを出し合う。
- 第3回ワークショップ (H20.2.24)
 - ⇒活用アイデアを実現させるために、市民は何をすべきかを考える。